

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011001	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	(D1・D2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業到達目標/Goal	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初には、プリントでウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スピーチ、総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Memorable Speeches (センゲージ) 2, 000円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% e-learning 40% 定期試験には平常点、出席等も含まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とする。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Practice Test 1		
第2回	第2回: Practice Test 2, LincolnのThe Gettysburg Address		
第3回	第3回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (1)		
第4回	第4回: Practice Test 4, Obama のVictory Speech (2)		
第5回	第5回: Practice Test 5, ObamaのVictory Speech (3)		
第6回	第6回: Practice Test 6, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)		
第7回	第7回: Practice Test 7, Murakami haruki のJerusalem Speech (2) e-learning小テスト1回目		
第8回	第8回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)		
第9回	第9回: Practice Test 9, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)		

第10回	第10回 : Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)
第11回	第11回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(2)
第12回	第12回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(3)
第13回	第13回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)
第14回	第14回 : e-learning小テスト2回目他
第15回	第15回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
第16回	第16回 : 定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011002	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。 (4) その会話の和訳を英訳できる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画(DVD視聴)を使用し、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習(グループワーク、Readers' theater等の活動、あるいは配布物による学習を含む) (3) 3分間(フリーorトピック)トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴(5分程度) <p>提出されたグループワークは、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法を説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のCD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		
キーワード/Key word			

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student 's Book B with Self -study CD-ROM』 Cambridge University Press - ISBN:978-0-521-12754-7を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers ' theater 40%、課外学習のe-learning 小テスト40%(3 Step Call System, Power Words)を総合的に判断します。
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書、英語辞典(電子辞書可)を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習する内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回 10月16日	テキストRelationships
第3回 10月23日	Relationships (G/W)
第4回 10月30日	Relationships
第5回 11月6日	Readers ' theater , e-learning 復習他
第6回 11月13日	1回目e-learning 小テスト(3step, Power words), Relationships
第7回 11月20日	Music
第8回 11月27日	Music (G/W)
第9回 12月4日	Music
第10回 12月11日	Readers ' theater , Music
第11回 12月18日	On Vacation, e-learning 復習他
第12回 12月25日	On Vacation (G/W)
第13回 1月15日	2回目e-learning 小テスト(3step, Power words), On Vacation
第14回 1月22日	On Vacation, Review
第15回 1月29日	Review
第16回 2月5日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011003	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	イギリスに関する興味深い内容の英文を通して、英語に対する関心を高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、イギリス文化と英語について、イギリスと日本の比較文化という観点から、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	イギリスとイギリス文化に対して関心を持ち、英語の習得に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。英文はイギリスおよびイギリスと日本との比較文化を取り扱い、特色ある内容である。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / イギリスとその文化 / イギリスと日本との比較文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cross-Cultural Views on Britain 『比較文化で考えるイギリスと日本』 (Richard H. Bent / 井石哲也 / 井石令子: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning40%、小テスト10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	導入・授業内容の説明
第2回 10月16日	Unit 1
第3回 10月23日	Unit 2
第4回 10月30日	Unit 3
第5回 11月6日	Unit 4
第6回 11月13日	Unit 5 【第1回 e-learning 小テスト】
第7回 11月20日	Unit 6
第8回 11月27日	Unit 7
第9回 12月4日	Unit 8
第10回 12月11日	Unit 9
第11回 12月18日	Unit 10
第12回 12月25日	Unit 11
第13回 1月15日	Unit 12 【第2回 e-learning 小テスト】
第14回 1月22日	Unit 13
第15回 月29日	Unit 14
第16回 2月5日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011004	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、日本を代表する有名企業の商品開発および研究に関する記事を通して、各々の企業努力と今後の展望について読み解く、読解力を養成します。また、速読も行い、速読力も養成します。		
授業到達目標/Goal	1. テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめる。 2. 速読力を鍛えることで、短時間で英文の趣旨を捕らえることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	この授業は座学による授業で、前半、基本文法の確認をしながら英文読解をしていきます。後半、各トピックに関するリスニング、速読に取り込んでいきます。		
授業内容/Class outline/Con	全回、有名企業の商品開発等の英文読解を通して、基盤的な知識を学びます。そして、英文理解の確認問題(リスニング含む)に取り組みます。また、速読にも取り組みます。第16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストの最初のページについている補足説明をしっかりと読んで、授業に臨むこと。また、テキストの中に出てくるキーワードはインターネット等で事前に調べておくこと。速読法の練習を行い、次回の授業でより速く、正確な英文理解ができるよう、復習をしておくこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Innovative Japanese Companies (松柏社) ¥1,950 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業内での取り組み(10%) + 速読課題(14回 × 2 = 28%) + 定期試験(22%) + e-learning小テスト(3step・Power Words)(40%) = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Cyberdyne's HAL Suits Give Lift to Mobility-Challenged 速読		
3回目	Japanese Firm Showcases 'Touchable' 3-D Technology 速読		
4回目	Hollywood to Get First Phot Sticker Machine Fine-tuned for Americans 速読		
5回目	Fish Voodoo 速読		

6回目	e-learning 小テスト1回目 The CALPIS Story 速読
7回目	Growing the Future 速読
8回目	Latest Success Puts Global Customers within Range 速読
9回目	Fujifilm Finds New Life in Cosmetics 速読
10回目	ASICS Races for Larger Share of Global Sport Shoe Market 速読
11回目	"Shachihata," a Byword for Seals That Require No Ink 速読
12回目	Personal Mobility Device Changes into 4 Forms 速読
13回目	e-learning 小テスト2回目 Satoru Iwata Obituary: Nintendo Ex-President Who Helped Bring Video Games to a Family Audience 速読
14回目	The Superior Cafeteria 速読
15回目	AuthaGraph World Map Offers New Perspective 速読
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011005	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	各章750~900語程度の12章から成る THE POWERFUL READER, HIGH INTERMEDIATE をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。第1章は、テキストの利用の仕方の確認も含めて2回をかけて読むが、以後は毎回1章のスピードで読む。15回の授業の初めの5回は精読を中心に、その後は速読を意識して読み、最後の5回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせるように演習を行う。 授業の最初は、和文英訳と英単語の予習タイプの小テストを行う。テスト範囲は、毎回前回は指定する。 その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。第7回目と第14回目は、ペアで或いは4人で、ディスカッションをし、短いがある程度まとまった英文にして提出する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	THE POWERFUL READER, HIGH INTERMEDIATE, Beth M. Pacheco / Joan Young Gregg, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, ¥2000+税 第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とする小テスト2回、各30分程度)、定期試験45%、小テスト約10%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約5%。 課外学習の e-learning に関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシス広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシス広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Chapter 1 Fashion Forward: Styles from the Street
第2回	Chapter 1 Fashion Forward: Styles from the Street
第3回	Chapter 2 Challenging Nature: Riding the Waves
第4回	Chapter 3 The Maori: Cultural Expression in the Land of the Long White Cloud
第5回	Chapter 4 Shall We Dance?
第6回	Chapter 5 Pompeii: Uncovering the Past
第7回	第1回 e-learning 小テスト(30分程度) ペア或いは4人のグループでディスカッション（第6回目までの授業内容からいくつかのテーマを設定して） そのディスカッションについての短い感想文を英語で書く
第8回	Chapter 6 Safari!: An Awesome African Adventure
第9回	Chapter 7 Theme Parks: The Illusion of a Grand Tour
第10回	Chapter 8 New York: A perfect Day in Chocolate City
第11回	Chapter 9 The Nobel Nobel: For the Benefit of Humankind
第12回	Chapter 10 Humor and the Human Condition
第13回	Chapter 11 Alone at the Fair: A Portrait of Aging
第14回	第2回 e-learning 小テスト(30分程度) ペア或いは4人のグループでディスカッション（第8回目から第13回目までの授業内容からいくつかのテーマを設定して） そのディスカッションについて短い報告文を英語で書く
第15回	Chapter 12 Art Speaks: "War Is Hell"
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011006	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning 40 % 授業で課す課題 10% 期末テスト 50 %		
受講要件 (履修条件) /Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	英文要約教材(2)		
第7回	e-learning 小テスト(1) Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		

第9回	英語要約課題（4）
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)
第11回	英文交渉メールの基礎と練習
第12回	英語課題作文練習（1）
第13回	英語課題作文練習（2）
第14回	e-learning 小テスト (2) 英語プレゼンテーションの基礎
第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011007	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007_hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	"Reading skill の向上に重点的に取り組む。語彙・文法事項・文章構成のレトリック等に留意しつつ、Reading strategyに沿って速読力のアップ、さらには内容を十分に理解する精読も行う。また、時事英語を学びながら、語彙力の養成及び社会事象への関心を高めることを促す。"		
授業到達目標/Goal	"(1) TOEIC 400 ~ 450 のレベルの英文を難なく読みこなす。 (2) 正確な内容理解のために、これまでに学習した基本文法を適用できる。"		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークも含み進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークも含み進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指示された箇所の予習とQuiz(小テスト)のための復習を確実にを行うこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	For Your Information 3 Reading and Vocabulary Skills (Second Edition)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning 小テスト(3step/PowerWords) 40%、課題・小テスト・授業参加度10%、期末試験50%		
受講要件(履修条件) /Requirements	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備などについて、要件があれば記入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Course Outline : 教材配布		
第2回	Unit 3 Chapter 3 Reading the Passage		

第3回	Unit 3 Chapter 3 Reading and Vocabulary Comprehension
第4回	Unit 4 Chapter 2 Reading the Passage
第5回	Unit 4 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第6回	Unit 4 Chapter 3 Reading the Passage
第7回	e-learning 小テスト1回目 Unit 4 Chapter 3 Reading and Vocabulary Comprehension
第8回	Unit 7 Chapter 2 Reading the Passage
第9回	Unit 7 Chapter 2 Reading the Passage
第10回	Unit 7 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	Unit 7 Chapter 3 Reading the Passage
第12回	Unit 7 Chapter 3 Reading and Vocabulary comprehension
第13回	Unit 8 Chapter 3 Reading the Passage
第14回	e-learning 小テスト2回目 Unit 8 Chapter 3 Reading the Passage
第15回	Unit 8 Chapter 3 Reading and Vocabulary Comprehension / Review
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011008	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	水産(F1)(習熟度別) Advancedクラス		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	文教キャンパス 言語教育研究センター 1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界遺産に指定されている文化遺産と自然遺産に焦点を当て、DVDを見ながら学習し、英語の総合力を高める。		
授業到達目標/Goal	1. ナチュラルスピードの英語に慣れる。 2. 歴史、地理、世界遺産の特色に関する英語表現・語彙を習得する。 3. 英語を「聞く・読む・話す」技能を高める。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストに従って授業を進めていく。DictationやDialogの際はペアワーク・グループワークを行なう。		
授業内容/Class outline/Con	DVDのナレーションに含まれる世界遺産の歴史、地理、特色など様々な情報を理解するための語彙を習得し、Dictationによってリスニング力をつけ、ナレーションの英文を理解し、各unitのトピックについての会話練習も行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Dictation-Clozeの本文を事前に予習し、知らない単語の意味を調べておくこと。授業後は学習した英語表現と語彙を習得するために復習を行なうこと。E-learningの教室外学習に積極的に取り組むこと。		
キーワード/Key word	World Heritage, DVD, Dictation, Reading, Dialog		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Someya (2010), World Heritage on DVD, NAN'UNDO		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5回欠席した場合、期末テストは受験できない。 1. e-learning小テスト(3step・PowerWords) 40%, 2. 期末テスト 40% 3. その他(出席、授業中の作業、参加態度) 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	授業のガイダンス、DVDを観る		
2	Unit 1. Statue of Liberty		
3	Unit 1. Statue of Liberty		
4	Unit 4. Canadian Rockies, Canada		
5	Unit 4. Canadian Rockies, Canada		
6	Unit 5. The Pyramids, Egypt		
7	Unit 5. The Pyramids, Egypt /e-learning 小テストNo.1		

8	Unit 8. Machu Picchu, Peru
9	Unit 8. Machu Picchu, Peru
10	Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
11	Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
12	Unit 12. Cappadocia, Turkey
13	Unit 12. Cappadocia, Turkey
14	Unit.14. Perspolis, Iran /e-learning 小テストNo.2
15	Unit.14. Perspolis, Iran
16	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011009	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキャニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキャニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart PLUS 『楽しく読もう! 総合英語演習 2』 (安浪誠祐 / Richard S. Lavin : センゲージラーニング株式会社) 音声はダウンロード形式です。http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、課外学習のE-learning 40%(3 Step、Power Words)、小テスト10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして、音声聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月3日	導入・授業内容の説明
第2回 10月10日	Unit 1
第3回 10月17日	Unit 2
第4回 10月24日	Unit 3
第5回 10月31日	Unit 4
第6回 11月7日	Unit 5
第7回 11月14日	Unit 6 【第1回 e-learning 小テスト】
第8回 11月21日	Unit 7
第9回 11月28日	Unit 8
第10回 12月5日	Unit 9
第11回 12月12日	Unit 11
第12回 12月19日	Unit 12
第13回 1月9日	Unit 13
第14回 1月16日	Unit 14 【第2回 e-learning 小テスト】
第15回 1月23日	Unit 15
第16回 2月6日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011010	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	4年間の大学での勉学の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標/Goal	ある程度の長さの英文を、目的に応じて、速読で大意をとること、或いは精読で正確な意味をとること。英語で自分の考えを伝える際に必要となる基礎的な語彙や英文法を確認し、増強すること。簡単な内容については、英語を用いて、自分の言いたいことが相手に伝えられるようになること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業の初めに予習型の小テストを行う。次に、音声を聞いて予習を思い出し、また英語のリズムと速さで読む練習をする。次にその日のユニットの英文を、15回の授業前半では精読を中心に、後半では速読を意識して読む。その際、大意を速く正確に取るために、段落ごとと全文の、構成とmain idea に気を付けることを学ぶ。更なる理解のために、テキストの設問も適宜利用する。		
授業内容/Class outline/Con	最新の科学の Mysteries (不思議)を、動物、人体、生命、宇宙、進化の5つのジャンルで、それぞれ350語から400語程度で書かれた英文を用いて、正確な意味を取り、基礎的な語彙と文法の確認、増強を行う。さらに、できれば、自分で言う、書くことを練習する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前に、内容をきちんと読んで、自分の分からない部分をはっきりさせてくること。分からなかつた部分が、授業後に分かっていることを、確かめること。		
キーワード/Key word	精読、速読、スキミング、スキミング、main idea、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Mysteries in Science, Hiroto Nagata / Geraldine Twilley, Nanun-do, ¥1800 (CD 付き)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平常点(小テスト・出席状況・提出物・積極的な参加)が15%、期末試験45%、e-learning小テスト(2回)40%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション Unit 1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants 現在形・現在進行形		
第2回	Unit 2 Where Have All the Honeybees Gone? 過去形		
第3回	Unit 3 He or She? 関係代名詞・関係副詞		

第4回	Unit 4 Brain Regeneration 受動態
第5回	Unit 5 Now You See It, Now You Don't: The Invisible Gorilla 減じ分詞・過去分詞
第6回	Unit 6 Be Careful of Paper-Cuts 現在完了
第7回	第1回 e-learning小テスト Unit 7 Baby Corals Dance Their Way Home 未来形
第8回	Unit 8 Monarch Butterfly Migration 不定詞
第9回	Unit 9 No Polar Bears In the Antarctic 仮定法
第10回	Unit 10 Wish Upon a Shooting Star 過去完了
第11回	Unit 11 It's Not Safe Out There! 不定代名詞
第12回	Unit 12 Come our, Come out, Wherever You Are! 助動詞
第13回	Unit 13 Who Is The Smallest One of Them All? 比較級・最上級
第14回	第2回 e-learning小テスト Unit 14 Missing Link: Tiktaalik 完了助動詞
第15回	Unit 15 The Bittersweet Battle with Cockroaches 分詞構文

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011011	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	reading, summary writing, listening		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック(20%), e-learning小テスト(40%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		
第3回	Listening 2, プリント教材(2)		
第4回	Listening 3, プリント教材(3)		
第5回	Listening 4, プリント教材(4)		
第6回	Listening 5, プリント教材(5)		
第7回	E-learning小テスト(1)(約30分程度), , プリント教材(6)		
第8回	Listening 6, プリント教材(7)		
第9回	Listening 7, プリント教材(8)		
第10回	Listening 8, プリント教材(9)		
第11回	Listening 9, プリント教材(10)		

第12回	プリント教材(11)
第13回	Listening 10, プリント教材(12)
第14回	E-learning小テスト(2), プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011012	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、TOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を適確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストや課題を実施する。 ・配布プリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。 ・授業の最後では、作文の作成やグループ・ペアでの発表を行う。 		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning: 40% 授業への取り組み、小テスト・課題: 40% 中間・期末課題: 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月11日: オリエンテーション & 準備学習		
第2回	4月18日: 配布資料1		
第3回	4月25日: 配布資料2		
第4回	5月2日: 配布資料3		

第5回	5月9日：配布資料4
第6回	5月16日：配布資料5
第7回	5月23日：e-learningテスト (1) & 配布資料6
第8回	5月30日：中間課題
第9回	6月6日：配布資料7
第10回	6月13日：配布資料8
第11回	6月20日：配布資料9
第12回	6月27日：配布資料10
第13回	7月4日：e-learningテスト (2) & 配布資料11
第14回	7月11日：配布資料12
第15回	7月18日：期末課題

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011013	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G3のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価する。 e-learning小テスト: 1回目 5/22-5/26, 2回目 7/3-7/7の授業日に実施 Power Wordsの小テストは、e-learning学習の小テストに組み込まれます。また、TOEFL-ITPが6月17日(土)に実施されますが、20%として評価に組み込まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	第3回 速読(phrase reading)とLaughing will save you from going crazy.		
第4回	第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox		

第5回	第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.
第6回	第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	第7回 速読(phrase reading)とペアワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	第8回 速読(phrase reading)と, Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	第9回 速読(phrase reading)とペアワーク(4), Current Issues
第10回	第10回 速読(phrase reading)とペアワーク(5),, Chocolate and its magical power.
第11回	第11回 速読(phrase reading)とペアワーク(6), Processed Food.
第12回	第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	第13回 Information gap practice (pair work (7)
第14回	第14回 ELTS Writing入門
第15回	速読(6)とsummarizing まとめ
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011014	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す・書くの英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart PLUS 『楽しく読もう! 総合英語演習 2』 (安浪誠祐 / Richard S. Lavin : センゲージラーニング株式会社) 音声はダウンロード形式です。http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして、音声聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月4日	導入・授業内容の説明
第2回 10月11日	Unit 1
第3回 10月18日	Unit 2
第4回 10月25日	Unit 3
第5回 11月1日	Unit 4
第6回 11月8日	Unit 5
第7回 11月15日	Unit 6 【第1回 e-learning 小テスト】
第8回 11月22日	Unit 7
第9回 11月29日	Unit 8
第10回 12月6日	Unit 9
第11回 12月13日	Unit 11
第12回 12月20日	Unit 12
第13回 1月10日	Unit 13
第14回 1月17日	Unit 14 【第2回 e-learning 小テスト】
第15回 1月24日	Unit 15
第16回 2月7日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011015	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007_hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluencyの習得に努める。		
授業到達目標/Goal	" (1) TOEIC450~500程度の読解問題を解くことができる。 (2) 語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げる。 (3) Reading Strategyを使いながら、システマティックに読解力向上を目指す。 "		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークを含めて進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	(1) English newsの記事を読み取り、key sentencesを暗唱。 (2) 語彙力・表現力の養成。 (3) テキストの読解		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指示された箇所の予習とQuiz(小テスト)のための復習を確実に行うこと。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Active Skills for Reading 2 (Third Edition)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning 小テスト(3step/PowerWords) 40%、課題・小テスト・授業参加度 10%、期末試験 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Course Outline (導入): 教材配布		
第2回	Unit 8 Chapter 2 Reading the Passage		
第3回	Unit 8 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension		

第4回	Unit 9 Chapter 1 Reading the Passage
第5回	Unit 9 Chapter 1 Reading and Vocabulary comprehension
第6回	Unit 9 Chapter 2 Reading the Passage
第7回	e-learning 小テスト1回目 Unit 9 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第8回	Unit 11 Chapter 1 Reading the Passage
第9回	Unit 11 Chapter 1 Reading the Passage
第10回	Unit 11 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	Unit 11 Chapter 2 Reading the Passage
第12回	Unit 11 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第13回	Unit 12 Chapter 2 Reading the Passage
第14回	e-learning 小テスト2回目 Unit 12 Chapter 2 Reading the Passage
第15回	Unit 12 Chapter 12 Reading and Vocabulary Comprehension / Review
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011016	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英文の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。英文やダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌詞の背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語のフレーズと歌詞の詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことにより、英語の表現を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えた英文を使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。歌詞の表現を英語で覚える。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、対話形式の実践的なダイアログについても、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアログの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は、改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	英米の歌 / ダイアログ / 文法と発音の強化 / 歌を通して英語表現の容易な定着 / 英米の文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『心に残る英語の歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) (緑色ではなく黄色の表紙です。) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験の成績を50%、e-learning 40%、小テスト 10% を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E=MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に出席して下さい。あらかじめCDを聴いて、英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月29日	導入・授業内容の説明
第2回 10月6日	UNIT 1・2
第3回 10月13日	UNIT 3・4
第4回 10月20日	UNIT 5
第5回 10月27日	UNIT 6
第6回 11月10日	UNIT 7
第7回 11月17日	UNIT 8 【e-learning 小テスト 第1回目】
第8回 11月24日	UNIT 8・9
第9回 12月1日	UNIT 10
第10回 12月8日	UNIT 11
第11回 12月15日	UNIT 12
第12回 12月22日	UNIT 13
第13回 1月5日	UNIT 14
第14回 1月19日	Unit 15 【e-learning 小テスト 第2回目】
第15回 1月26日	UNIT 15
第16回 2月9日	2月5日 定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011017	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育2年生 L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館617号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に(精読), 早く(速読)読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる力を身につける。		
授業到達目標/Goal	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method			
授業内容/Class outline/Con	読解力を高めたいのに実力がつかない, 教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, 素材は物語, 自伝, 小節, エッセイの4ジャンル, 国籍も英米, 時代も19世紀と現代と変化に富ませ, 注釈はもちろん, 英文法ガイドも設けられている教科書を準備したので, 存分に読み込んで学習してもらいたい。		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
キーワード/Key word	読解力(精読・速読)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉(編注) Reading English Step by Step. 音羽書房鶴見書店。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分は下記(1)と(2)の計60% (1) 授業時の発表 30% (2) 確認テスト第1回~3回の成績30% (3) E-learning 40% (4) 便覧にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	学生便覧を参照。		
学生へのメッセージ/Message for students	上記「授業のねらい」のとおり。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Lafcadio Hearn (1)		
第2回	Lafcadio Hearn (2)		
第3回	Lafcadio Hearn (3)		
第4回	Helen Keller (1)		
第5回	確認テスト第1回, Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)		

第6回	Helen Keller (3)
第7回	E-Learning小テスト1回目 Helen Keller (4)
第8回	Philip K. Dick (1)
第9回	Philip K. Dick (2)
第10回	Philip K. Dick (3)
第11回	確認テスト第2回, Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)
第12回	Robert Lynd (1)
第13回	Robert Lynd (2)
第14回	E-Learning小テスト2回目 Robert Lynd (3)
第15回	Robert Lynd (4)
第16回	確認テスト第3回 (期末テスト), Robert Lyndリスニング練習

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011018	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	これまでの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC550点以上が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con	第1回目から15回目は、教科書の教材配列に従って、授業を進めていきます。第16回目に定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の予習・復習を徹底して行うこと。		
キーワード/Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Stream. Intermediate KINSEIDO. by O. Takeuchi 他.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(60%)、e-learning 小テスト(40%)を基準に評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	E-learning への取り組み及び授業での発表活動に対する評価が大きな割合を占めますので、積極的に英語学習に取り組んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Pink Carnations Scanningのスキルについて		
第2回	The History of Jeans Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	To Long Life! Skimming for the Main Idea		
第4回	Be Careful What You Wish For Recognizing Sequence of Events		
第5回	Baseball and Cricket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)		
第6回	In Our Blood or in Our Minds Predicting のスキル		

第7回	Know Yourself, Know the Market Inferring のスキル e-learning 小テストの実施
第8回	Brainstorming Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	A Good Consumer Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Welcome to he Hall of Fame! Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Special Circumstances Developing Reading Fluency (1)
第12回	Lies and Statistics Developing Reading Fluency (2)
第13回	Builders Break Ground on Blackwood Bridge Project To Read Newspaper Articles
第14回	Coded Communication Developing Reading Fluency (3) e-learning 小テストの実施
第15回	Lucid Dreaming Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011019	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部(L3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	共用校舎II(文教総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives			
授業到達目標/Goal	To upgrade students' communication skills in English, their Intercultural Communicative Competence and understanding of cultural diversities, and integrate knowledge with skills acquired through activities on Japanese & Taiwanese culture, and communication with Taiwanese students.		
授業方法(学習指導法)/Method	Lecture, Collaborative activities, Discussion in classroom and on the F.B.		
授業内容/Class outline/Con	Phase 1) Students will post their self-introduction videos onto the Facebook(FB) Group and communicate about some cultural topics with Taiwanese students, Phase 2) Students will Research for the news in Taiwan and summarize the news, and then debate about them on FB, Phase 3) students give videos/photos and their scripts and record their voice. Taiwanese students will edit them and integrated what they did in Phase 1 and 2, Phase 4) Students will make final project presentation.		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Need to be familiar with Face Book activities and do all assignments as required. Positive participation in the activities will contribute students' final grades.		
キーワード/Key word	Discussion, communication skills in English, presentation, and understanding of cultural diversities		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided by the instructor		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. Attendance and Participation (14%) 2. FB Discussion (6%×3) 3. Journals (6%×3) 4. Presentation (10%) 5. E-learning mimi tests (40%):内訳 3-Step CALL System:American Daily Life (20%)・Power Words: Level.4(20%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点、5回以上欠席(公欠を除く)場合は単位修得できません。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

1	10/4	Orientation: 1. Set up Facebook and LINE account. 2. Form 6 groups consisting of 2 sub-groups, and prepare for self-introduction to the Facebook group.
2	10/11	Phase 1: self-introduction in movies on FB スーパーメディア変換: softwareをdownload Share cultural topics, such as food, festivals, and tourism.
3	10/18	Give two questions to Taiwanese partners' explanation; reply to their questions
4	10/25	Same as Class 3 HW: Journal about Q.1-5: 1. Write about your personal reflections of the exchange process. 2. What did you share with your Taiwanese partner? 3. What did your Taiwanese partner share with you? 4. What have you learned from this process? 5. What differences and similarities have you found through this exchange?
5	11/1	Phase 2: Search news issues based on group interest Research for the news in Taiwan in texts with photos
6	11/8	Summarize the news or issues and upload them on FB. Give questions to partners' texts
7	11/15	Give feedback to Taiwanese reports, and interact with partners 小テストNo.1(3-step: American Daily Life & Power words: Level.4)
8	11/22	Phase 3: Intercultural collaboration on digital storytelling/comic drawing Learn how to use Comic Life Software
9	11/29	Comic drawing based on cultural topics they reported on the Phase 1.
10	12/6	Same as Class 9
11	12/13	Japanese students give videos/photos and their scripts and record their voice. Taiwanese students will edit them and integrate what they did in Phase 1 and 2.
12	12/20	Same as Class 11
13	1/10	Phase 4: Preparation for final Project Presentation
14	1/17	Final Project Presentation: video-recording 小テストNo.2 (3-step: American Daily Life & Power words: Level.4)
15	1/24	Final Project Presentation: video-recording

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011020	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教 (L(英4))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)映画を題材にした教材を用い、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)映画とその文化的、社会的背景を読み解く。		
授業到達目標/Goal	映画と社会との相互関係を知り、作品に登場する英語表現を学んで国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con	ペアワーク又はグループワークにより練習問題での内容把握、和訳、会話練習を行う。また、リスニングと英作文を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	映画と文化的背景		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Our Time, Our Lives, Our Movies (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%)、e-learning小テスト(3step・Power Words)40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 1 (Star Wars)		
第3回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 2 (Frozen)		
第4回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 3 (Toy Story)		
第5回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 4 (Harry Potter)		
第6回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 5 (The Lord of the Rings)		
第7回	e-learning小テスト1回目 Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 6 (Titanic)		
第8回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 7 (Stand by Me)		
第9回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 8 (Pirates of the Caribbean)		
第10回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 9 (E.T.)		

第11回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 10 (Back to the Future)
第12回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 11 (Forrest Gump)
第13回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 12 (Die Hard)
第14回	e-learning小テスト2回目 Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 13 (The Dark Knight)
第15回	Our Time, Our Lives, Our Movies: Unit 14 (Good will Hunting)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011021	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	L5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	特に日常の健康問題をテーマとしたリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。パートナー(グループ)で疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題点・感想を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。英語を読み、聞き、声に出し、書き、それぞれの能力を総合的に伸ばす訓練をする。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回オリエンテーション。第2回~5回はキーワードに着目して内容を理解する練習をします。第6回~10回はパラグラフに着目して内容を理解し、音声をとらえる練習をします。第11回~13回は内容を理解し、音声をまねる練習をします。第14回はテキストの内容に沿った我々の健康と充実した生活に関して、ペアで会話発表をしてもらいます。第15回はまとめになります。第16回目が定期試験です。 7回目と14回目にe-learning小テストを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	園城寺康子, 名木田恵理子, 柏原洋子, 井上麻未『今日の社会と健康』(南雲堂, 2016年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning40%(60点以上合格)		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011022	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning小テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度, テキストUnit15)		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		

第12回	Listening 11, テキストUnit6
第13回	Listening 10, テキストUnit7
第14回	3Step小テスト(2), テキストUnit8
第15回	まとめ, テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011023	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学(M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	文教キャンパス 言語教育研究センター 1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界遺産に指定されている文化遺産と自然遺産に焦点を当て、DVDを見ながら学習し、英語の総合力を高める。		
授業到達目標/Goal	1. ナチュラルスピードの英語に慣れる。 2. 歴史、地理、世界遺産の特色に関する英語表現・語彙を習得する。 3. 英語を「聞く・読む・話す」技能を高める。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストに従って授業を進めていく。DictationやDialogの際はペアワーク・グループワークを行なう。		
授業内容/Class outline/Con	DVDのナレーションに含まれる世界遺産の歴史、地理、特色など様々な情報を理解するための語彙を習得し、Dictationによってリスニング力をつけ、ナレーションの英文を理解し、各unitのトピックについての会話練習も行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Dictation-Clozeの本文を事前に予習し、知らない単語の意味を調べておくこと。授業後は学習した英語表現と語彙を習得するために復習を行なうこと。E-learningの教室外学習に積極的に取り組むこと。		
キーワード/Key word	World Heritage, DVD, Dictation, Reading, Dialog		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Someya (2010), World Heritage on DVD, NAN'UNDO		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5回欠席した場合、期末テストは受験できない。 1. e-learning小テスト(3step・PowerWords) 40% 2. 期末テスト 40% 3. その他(出席、授業中の作業、参加態度) 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	授業のガイダンス、DVDを観る		
2	Unit 1. Statue of Liberty		
3	Unit 1. Statue of Liberty		
4	Unit 4. Canadian Rockies, Canada		
5	Unit 4. Canadian Rockies, Canada		
6	Unit 5. The Pyramids, Egypt		

7	Unit 5. The Pyramids, Egypt/e-learning 小テストNo.1
8	Unit 8. Machu Picchu, Peru
9	Unit 8. Machu Picchu, Peru
10	Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
11	Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
12	Unit 12. Cappadocia, Turkey
13	Unit 12. Cappadocia, Turkey
14	Unit.14. Perspolis, Iran /e-learning 小テストNo.2
15	Unit.14. Perspolis, Iran
16	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011024	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業で課す課題 10 % 3-STEP, Power Words 小テスト2回 40 % 期末テスト 50 %		
受講要件 (履修条件) /Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材 (1)		
第3回	英文速読教材 (2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材 (1)		
第6回	英文要約教材 (2)		
第7回	e-learning 小テスト (1) 英文要約課題 (3)		
第8回	Listening Comprehension Quiz (第2回)		

第9回	英語要約課題（4）
第10回	英文交渉メールの基礎と練習
第11回	Listening Comprehension Quiz (第3回)
第12回	英語課題作文練習（1）
第13回	英語課題作文練習（2）
第14回	e-learning 小テスト (2) 英語プレゼンテーションの基礎
第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011025	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業到達目標/Goal	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業方法 (学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初には、プリントでウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スピーチ、総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Memorable Speeches (センテージ) 2,000円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% e-learning小テスト 40% 定期試験には平常点、出席等も含まれます。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とする。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Practice Test 1		
第2回	第2回: Practice Test 2, LincolnのThe Gettysburg Address		
第3回	第3回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (1)		
第4回	第4回: Practice Test 4, Obama のVictory Speech (2)		
第5回	第5回: Practice Test 5, ObamaのVictory Speech (3)		
第6回	第6回: Practice Test 6, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)		
第7回	第7回: Practice Test 7, Murakami haruki のJerusalem Speech (2) e-learning 小テスト1回目		
第8回	第8回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)		
第9回	第9回: Practice Test 9, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)		

第10回	第10回 : Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)
第11回	第11回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(2)
第12回	第12回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(3)
第13回	第13回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)
第14回	第14回 : e-learning 小テスト2回目他
第15回	第15回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
第16回	第16回 : 定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011026	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(M4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Medical English Clinic (センゲージ・ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いたe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価する。e-learning小テスト: 1回目 11/13~11/17, 2回目 1/15~1/19の授業日に実施 Power Wordsの小テストは、e-learning学習の小テストに組み込まれます。小テストは、原則、医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)		
第3回	第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)		
第4回	第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)		

第5回	第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)
第6回	第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)
第7回	第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1),
第8回	第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)
第9回	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
第10回	第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
第11回	第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
第12回	第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク (3)
第13回	第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
第14回	第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing, semantic mapを用いた学習
第15回	まとめ
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011027	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(M5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル6の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): The Picture of Health(南雲堂) 1,700円 教材: プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、e-learning 40%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 4 Unit.1-5 3 Step American Daily Life
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 4 Unit.6-10 3 Step American Daily Life
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step American Daily Life
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 4 Unit.11-15 3 Step American Daily Life
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 4 Unit.16-20 3 Step American Daily Life
第6回	教科書 Unit 6. Business English Obesity (1) 3 Step American Daily Life e-learning Power Words Level 4 小テスト Unit.21-25
第7回	Business English Obesity (2) e-learning 小テスト 第1回目
第8回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 4 Unit.26-30 3 Step American Daily Life
第9回	教科書 Unit 8. Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 4 小テスト 3 Step American Daily Life
第10回	教科書 Unit 9. Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 4 Unit.31-35 3 Step American Daily Life
第11回	教科書 Unit 10 e-learning Power Words Level 4 Unit.36-40 3 Step American Daily Life
第12回	教科書 Unit 11. Business English Good Posture (1) Business English Obesity (1) 3 Step American Daily Life e-learning Power Words Level 4 小テスト
第13回	教科書 Unit 12 Business English Good Posture (2) e-learning Power Words Level 4 Unit.41-45
第14回	e-learning 小テスト 第2 回 Business English Good Posture (3)(4) e-learning Power Words Level 4 Unit.46-50

第15回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 4 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011028	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	特に日常の健康問題をテーマとしたリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。パートナー(グループ)で疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題点・感想を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。英語を読み、聞き、声に出し、書き、それぞれの能力を総合的に伸ばす訓練をする。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回オリエンテーション。第2回~5回はキーワードに着目して内容を理解する練習をします。第6回~10回はパラグラフに着目して内容を理解し、音声をとらえる練習をします。第11回~13回は内容を理解し、音声をまねる練習をします。第14回はテキストの内容に沿った我々の健康と充実した生活に関して、ペアで会話発表をしてもらいます。第15回はまとめになります。第16回目が定期試験です。 7回目と14回目にe-learning小テストを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	園城寺康子, 名木田恵理子, 柏原洋子, 井上麻未『今日の社会と健康』(南雲堂, 2016年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning40%(60点以上合格)		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011029	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	クリティカル・シンキングという、思考の方法を学び、生活や専門の研究に取り入れる。興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。ダイアログを学び、実用的な英語を習得する。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	クリティカル・シンキングを学び、自分の人生に役立てることができる。様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。文法を復習する。基礎的な能力を確かなものにし、応用的な英語の運用ができるようになる。ダイアログを学び、有用な英語表現ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、ダイアログの練習や、英文を声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。クリティカル・シンキングを常に認識しながら、リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。ダイアログの練習を行う。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	クリティカル・シンキング / リーディング / リスニング / ダイアログ / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	An Invitation to Critical Thinking 『クリティカル・シンキングのすすめ』 (高垣俊之 / 河原俊昭 他: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月4日	導入・授業内容の説明
第2回 10月11日	Lesson 1
第3回 10月18日	Lesson 2
第4回 10月25日	Lesson 3
第5回 11月1日	Lesson 4
第6回 11月8日	Lesson 5
第7回 11月15日	Lesson 6 【e-learning 小テスト 第1回目】
第8回 11月22日	Lesson 7
第9回 11月29日	Lesson 8
第10回 12月6日	Lesson 9
第11回 12月13日	Lesson 10
第12回 12月20日	Lesson 11
第13回 1月10日	Lesson 12
第14回 1月17日	Lesson 13 【e-learning 小テスト 第2回目】
第15回 1月24日	Lesson 14
第16回 2月7日	Lesson 15

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011030	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P(2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業到達目標/Goal	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業方法 (学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初には、プリントでウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スピーチ、総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Memorable Speeches (センゲージ) 2, 000円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% e-learning 小テスト40% 定期試験には平常点、出席等も含まれます。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とする。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Practice Test 1		
第2回	第2回: Practice Test 2, LincolnのThe Gettysburg Address		
第3回	第3回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (1)		
第4回	第4回: Practice Test 4, Obama のVictory Speech (2)		
第5回	第5回: Practice Test 5, ObamaのVictory Speech (3)		
第6回	第6回: Practice Test 6, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)		
第7回	第7回: Practice Test 7, Murakami haruki のJerusalem Speech (2) e-learning小テスト1回目		
第8回	第8回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)		
第9回	第9回: Practice Test 9, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)		

第10回	第10回 : Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)
第11回	第11回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(2)
第12回	第12回 : RooseveltのAnnual Message to Congress(3)
第13回	第13回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)
第14回	第14回 : e-learning小テスト2回目他
第15回	第15回 : HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
第16回	第16回 : 定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011031	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学(T1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)アメリカ3大ネットワークのニュース番組より、世界からの多種多様なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語の特徴に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con	DVDでテレビニュースを視聴、リスニング練習。ペアワーク又はグループワークにより練習問題での内容把握、和訳、英作文を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ABC World News 19 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%)、e-learning小テスト(3step・Power Words)40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	ABC World News 19 テレビニュース英語とは Unit 1 (Treasury Secretary Announces Historic Changes for \$20 Bill)		
第3回	ABC World News 19, Unit 1 (Treasury Secretary Announces Historic Changes for \$20 Bill)		
第4回	ABC World News 19, Unit 3 (Cuba's Gold Rush)		
第5回	ABC World News 19, Unit 3 (Cuba's Gold Rush)		
第6回	ABC World News 19, Unit 4 (Made in America: Super Bowl 50)		
第7回	e-learning小テスト1回目 ABC World News 19, Unit 4 (Made in America: Super Bowl 50)		
第8回	ABC World News 19, Unit 6 (Deadly Tornado Outbreak)		
第9回	ABC World News 19, Unit 6 (Deadly Tornado Outbreak)		

第10回	ABC World News 19, Unit 8 (Yelp! Reviewer Beware)
第11回	ABC World News 19, Unit 8 (Yelp! Reviewer Beware)
第12回	ABC World News 19, Unit 9 (Bridge Dangers: 1-in-10 in Need of Repair)
第13回	ABC World News 19, Unit 9 (Bridge Dangers: 1-in-10 in Need of Repair)
第14回	e-learning小テスト2回目 ABC World News 19, Unit 14 (On Alert: Faith and Fear)
第15回	ABC World News 18, Unit 14 (On Alert: Faith and Fear)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011032	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。ロンドン旅行での英語表現を通して、ダイアログの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、イギリスの文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>ロンドン旅行に即したテーマを中心とした、典型的で様々な状況の中で交わされる、実践的な親しみやすいダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返して行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。DVDを必ず自宅で見せておいてください。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。</p>		
キーワード/Key word	イギリスはロンドンでの旅行における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / 有用な映像と音声教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>London Alive 『さあ行こう London!』 (Paul Snowden / Emily Kyoko Snowden: 朝日出版社) (DVD付き) 音声教材は、http://text.asahipress.com/free/english から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。</p>		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、DVDを見て問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月4日	導入・授業内容の説明
第2回 10月11日	Unit 1
第3回 10月18日	Unit 2
第4回 10月25日	Unit 3
第5回 11月1日	Unit 4
第6回 11月8日	Unit 5・6
第7回 11月15日	Unit 7 【第1回 e-learning 小テスト】
第8回 11月22日	Unit 8
第9回 11月29日	Unit 9
第10回 12月6日	Unit 10
第11回 12月13日	Unit 11
第12回 12月20日	Unit 12
第13回 1月10日	Unit 13
第14回 1月17日	Unit 14 【第2回 e-learning 小テスト】
第15回 1月24日	Unit 15
第16回 2月7日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011033	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-Learning 小テスト(3Step CALL System, Power Words)(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	e-learning小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		

第12回	Listening 11, テキストUnit6
第13回	Listening 10, テキストUnit7
第14回	e-learning小テスト(2), テキストUnit8
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011034	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (T3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>"授業内容 Class outline/Con" テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning 授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning 授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning 授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning 授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning 授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning 授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning、e-learning小テスト1回目 授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning 授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning 授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning 授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning 授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning 授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning 授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning、e-learning小テスト2回目 授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning 授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System, Power Words), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011035	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、生活と文化、健康と環境、ビジネス、技術と幅広い分野の英文を通して、それぞれの分野で注目の話題に触れ、自ら考え、はんだんし、課題を解決する思考力を養っていきます。また、各話題に関連する会話文を通してリスニング力も養成していきます。		
授業到達目標/Goal	1.リスニングで何が話題になっているのかが大意を掴むことができる。2.writingの練習を通して、正しい文構造で英文を作ることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業では、座学で基礎文法の復習を含めた基盤的な知識を身につけていきます。知識定着のため、毎回小テストを実施します。		
授業内容/Class outline/Con	第1回~第4回は生活と文化、第5回~第8回は健康と環境、第9回~第12回はビジネス、第13回~第15回は技術について座学で基盤的な知識を学んでいきます。授業前半は英文読解、後半に基本文法の確認、各課の英文に関連した会話表現の学習で学んだ英語の定着を図ります。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前までにテーマに関することは自主的に調べておくこと。また、毎回確認テストを行うので、しっかりと復習しておくこと。		
キーワード/Key word	Life, Culture, Health, Environment, Business, Technology		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English Indicator 3 (Intermediate) (南雲堂) ¥2,160		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業内発表 (8%) + e-learning小テスト (3step・Power Words) (40%) + 確認テスト (14 × 2 = 28%) + 定期試験 (24%) = 100%のうち60% (60点) 以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	College Sports		
3回目	確認テスト Hip Hop Music		
4回目	確認テスト Travel		
5回目	確認テスト Video Games		
6回目	確認テスト Recycling		

7回目	e-learning 小テスト1回目 確認テスト Fast Food
8回目	確認テスト Extreme Weather
9回目	確認テスト Medical Tourism
10回目	確認テスト Advertising
11回目	確認テスト Business Travel
12回目	確認テスト E-commerce
13回目	確認テスト Coffee Shop
14回目	e-learning 小テスト2回目 確認テスト Robots
15回目	確認テスト SNS
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011036	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。</p> <p>「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウンの読解方法の実践指導を行う。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。</p> <p>TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的な努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラビッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやらせよう。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>1回目 オリエンテーション：授業の眼目説明と授業展開のシュミレーション</p> <p>2回目 New Pangea：原始地球の大陸移動と人類の誕生を考える</p> <p>3回目 New Pangea：農耕の始まりを考える</p> <p>4回目 Mixed Response(part1)：国家の誕生と他国への侵略を考える</p> <p>5回目 Mixed Response(Part2)：異文化との交流と国家の発展について考える</p> <p>6回目 Free Reign(Part1)：議会 政治制度と民主国家の誕生を考える</p> <p>7回目 e-learning 小テスト1回目</p> <p>8回目 Monkey Business(part1)：産業革命と進化論について考える(1)</p> <p>9回目 Monkey Business(part1)：産業革命と進化論について考える(2)</p> <p>10回目 Monkey Business(part1)：産業革命と自然環境について考える</p> <p>11回目 White Man's Race：文明の進歩と人種問題について考える</p> <p>12回目 Back to the Future(Part1)：西洋文明に対する植民地の抵抗について考える</p> <p>13回目 Back to the Future：ロシア革命と資本主義との相克について考える</p> <p>14回目 e-learning 小テスト2回目</p> <p>15回目 Which Way?：民族主義とグローバリズムの行き着く先について考える</p> <p>16回目 定期試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前に指定した箇所までの予習を完了し、問題点を明確にした上で、授業に臨むこと。		
キーワード/Key word	Practice of "critical reading"		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	David Peaty, Good News, Book2, 桐原書店		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末筆記試験(60%)、小テストの結果(30%)とE-ラーニング学修履歴(10%)など全学教育(英語)の規則に従って、評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通した授業内容の説明） Unit 1 :Summer Weight Gain 肥満問題を考える
第2回	第2回： Unit 2 :Sugar in Danger 摂取カロリーの問題を考える
第3回	第3回： Unit 3 :Adult Diapers Outsell Baby Diapers 高齢化社会の問題を考える
第4回	第4回： Unit 4 :Medical Robots 医療現場におけるロボットの導入を考える
第5回	第5回： Unit 5 :Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide コーヒーの効鬱効果を考える
第6回	第6回：3step 小テスト（1回目） Unit 6 :How Emergency Rooms Work 救急救命室のしくみを知る
第7回	第7回： Unit 7 :Keep Your Heart Moving 脳卒中と運動との関係を知る
第8回	第8回： Unit 8 :Teens Light Up E-Cigaretts 若年喫煙の問題を考える
第9回	第9回： Unit 9 :Curing Peanut Allergies 食物アレルギーの治療法を考える
第10回	第10回： Unit 10 :Cancer and Poverty 癌と貧困の問題を考える
第11回	第11回： Unit 11 :AED AEDについて知ること
第12回	第12回：3step 小テスト（2回目） Unit 12 :Global Warming Triggers Disease 地球温暖化と病気の増加を考える
第13回	第13回：G-Telp テスト
第14回	第14回：Useful Expressions（1～6）解説 医療現場での基本的な会話表現を知ること
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011037	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。ロンドン旅行での英語表現を通して、ダイアログの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、イギリスの文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>ロンドン旅行に即したテーマを中心とした、典型的で様々な状況の中で交わされる、実践的な親しみやすいダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返していき、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。DVDを必ず自宅で見せておいてください。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。</p>		
キーワード/Key word	イギリスはロンドンでの旅行における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / 有用な映像と音声教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>London Alive 『さあ行こう London!』 (Paul Snowden / Emily Kyoko Snowden: 朝日出版社) (DVD付き) 音声教材は、http://text.asahipress.com/free/english から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。</p>		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、DVDを見て問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月29日	導入・授業内容の説明
第2回 10月6日	Unit 1
第3回 10月13日	Unit 2
第4回 10月20日	Unit 3
第5回 10月27日	Unit 4
第6回 11月10日	Unit 5・6
第7回 11月17日	Unit 7 【第1回 e-learning 小テスト】
第8回 11月24日	Unit 8
第9回 12月1日	Unit 9
第10回 12月8日	Unit 10
第11回 12月15日	Unit 11
第12回 12月22日	Unit 12
第13回 1月5日	Unit 13
第14回 1月19日	Unit 14 【第2回 e-learning 小テスト】
第15回 1月26日	Unit 15
第16回 2月9日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011038	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki@sun.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広げていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	リスニングとスピーキングを組み合わせながら、音のつながりや脱落など、英語の発音の練習をする。英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。		
授業内容/Class outline/Con	様々な英語表現を含む文章を聞き、未知の英語表現を各話題の内容に沿った形でそれぞれの意味を推測していく。また、英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景についても考える。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード/Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning小テスト(3step CALL, Power Words) 40%Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)		
第2回	初対面のあいさつ、自己紹介		

第3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う
第4回	お礼を言う・謝る
第5回	ほめる・誘う
第6回	お悔やみ
第7回	e-learning小テスト1回目、中間テスト
第8回	人間関係は対等・まず結論ありき
第9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ
第10回	色の表現・語順はやっかいだ
第11回	そのカタカナ英語、通じない!
第12回	曖昧表現・間接表現
第13回	謙讓表現・丁寧さを出すノウハウ
第14回	e-learning小テスト2回目、中間試験
第15回	まとめ
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011039	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Goal	1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通して単語力・発音・リスニング力を向上させる 3・グループワークを通して他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
授業方法 (学習指導法) /Method	主にペア・グループ活動を行います。授業毎にペアを替え、多くのクラスメイトと英語でのコミュニケーションを体験してもらいます。また、プレゼンテーションを通して人前で話すことを経験し他の人と共に活動する大変さ、重要さ、楽しさを感じてもらいたいと思っています。		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やします。また、音読の練習を行い発音の練習も行います。 Speakingの時間は基本となる文法を復習しながら主にその文法を用いてSpeakingの練習をします。またランダムにトピックを出し、英会話の練習をします。 Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行います。事前に原稿を作成しますので、ライティングの練習と捉え、一人およそ1分ぐらいの量の英作文を作ります。 16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みしましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (10回実施) 10% / プレゼンテーショングループ評価 20% / 定期試験 20% / レポート提出 10% / e-learning 小テスト 40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるようにこの授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション / Speaking activity Group activity (グループ作成 + プレゼンターマ決め)		
第2回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (アウトライン + 担当決め)		

第3回	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第4回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第5回	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (英文完成)
第6回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (proofread)
第7回	Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認) e-learning小テスト1回目
第8回	第1回 プレゼンテーション
第9回	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン内容決め)
第10回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第11回	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第12回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (英文完成)
第13回	Speaking activity Group activity (proofread)
第14回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認) e-learning小テスト2回目
第15回	第2回 プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011040	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学(T9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con	DVDにてテレビニュースを視聴、リスニング。ペアワーク又はグループワークにより練習問題で内容把握、和訳を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CNN Student News Vol.5 (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%)、e-learning小テスト(3step・Power Words) 40%		
受講要件(履修条件) / Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	CNN Student News Vol.5: テレビニュース英語とは Unit 1 (Sleep and Compliments)		
第3回	CNN Student News Vol.5: Unit 1 (Sleep and Compliments)		
第4回	CNN Student News Vol.5: Unit 2 (Space Junk)		
第5回	CNN Student News Vol.5: Unit 2 (Space Junk)		
第6回	CNN Student News Vol.5: Unit 3 (Teenagers and Digital Media)		
第7回	e-learning 小テスト1回目 CNN Student News Vol.5: Unit 3 (Teenagers and Digital Media)		
第8回	CNN Student News Vol.5: Unit 5 (Stonehenge's Deeper Mystery)		
第9回	CNN Student News Vol.5: Unit 5 (Stonehenge's Deeper Mystery)		

第10回	CNN Student News Vol.5: Unit 8 (Air Pollution in Asian Cities)
第11回	CNN Student News Vol.5: Unit 8 (Air Pollution in Asian Cities)
第12回	CNN Student News Vol.5: Unit 10 (The Price of Oil)
第13回	CNN Student News Vol.5: Unit 10 (The Price of Oil)
第14回	e-learning 小テスト2回目 CNN Student News Vol.5: Unit 13 (Hip Hop Therapy)
第15回	CNN Student News Vol.5: Unit 13 (Hip Hop Therapy)
第16回	期末試験